

中央社保協ニュース



いかそう!
憲法 25 条

中央社会保障推進協議会 2024年9月3日 24-6号

110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5階

電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345

メール k25@shahokyo.jp HP <https://shahokyo.jp/>

部内資料

「心が震えた」中央社保学校 from 大阪 オンラインで大成功 震災復興・政治・若者をテーマに 430 名



8月31日～9月1日の2日間、中央社保学校 FROM 大阪は、台風10号の接近のため完全オンライン開催となりました。オンライン及び集団視聴を含め実参加者数は430名でした。

第一講座「災害復興政策の根本問題」講師の田中正人先生は、日本における災害の歴史や各地での特徴的な復興実践を通じて、今の「国土

強靱化計画」や「コンパクトシティ構想」は都市の論理。都市は地方がなければ成り立たないということを理解しなくてはならない。「復興の主体はだれか?誰のための政策か?」を常に考え、今の災害復興政策の根本的な政策転換が必要であると訴えました。被災地能登の現状を石川社保協の藤牧さん、災害と自治体労働者の立場から自治労連の山本さんが特別報告を行いました。

第2講座パネルディスカッション「政治と社会保障」では、冨田先生、桜田先生、元橋先生の3名がそれぞれの研究テーマを報告しその後ディスカッション。「包摂の論理」と「ケア民主主義」が新自由主義の対抗軸であり、そのための政策を浸透させる戦術や対話の重要性が強調されました。

第3講座シンポジウム「若者とともを考える社会保障の未来」では4つの団体から7名が登壇、災害支援活動や若者支援活動、現場で働く労働者の立場から日頃感じている思いや、社会保障に対する思いが素直に語られ、参加者の心を揺さぶる感動のシンポジウムでした。

急ぎ感想文をお寄せください。来年秋の中央社保学校は九州ブロック、佐賀県開催の予定です。